

発行日
令和6年3月4日

Vol.79



発行所
関西配管工事業協同組合
〒531-0072
大阪市北区豊崎3-20-9
三栄ビル6階
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者
事業部・教育情報部
HP:<https://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp



関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 関 誌

もくじ

●「新春を迎えて」庄司真之理事長	2
●新年賀詞交歓会を開催	3
●レッキス工業で技術研修実施	5
●1級配管技能士の受検対策講習実施	6
●組合後援の「管材・設備総合展」開催	8
●組合員・賛助会員合同懇談会開催	10
●近畿地区で登録配管基幹技能者講習実施	11
●サロン(桜宮小でミニバスケットボール大会)	11
●理事会 議事要旨	12
●新規加入組合員	12
●青年部会が積水化学の滋賀・栗東工場見学	13
●日管連全国青年部会 札幌で勉強会開催	14
●朝倉設備から2氏、大阪府知事表彰	16

新春を迎えて

大阪・関西万博起爆剤に業界発展へ



関西配管工事業協同組合
理事長 庄司 真之

旧年中は、当組合の諸活動に何かとご指導、ご鞭撻を賜り有り難うございました。本年も変わりませず、宜しくお願ひ申し上げます。

2020年、21年、22年と3年間、新型コロナウイルスの猛威に翻弄されましたが、昨23年に新型コロナは2類から5類に移行となり、やっとコロナ以前の日常が戻ってきました。本当に悪夢のような3年間でした。

これからは、コロナで疲弊した社会を、疲弊した経済を、皆で力を合わせて動かしていかなければなりません。経済が動かなければ私達の生活は成り立ちません。

しかしながら、世界ではウクライナ問題やイスラエルの軍事衝突等の戦争が実際に起こっており、収束する様子が見えません。私達の日本におきましても戦争という言葉が絵空事ではないような状況にもなってきており、非常に心配です。

その影響から、多くの生活必需品の値上がりが続き、私達の日常生活を圧迫しております。人間とはつくづく愚かな生き物だと思います。平和はそこに存在するものではなく、人間が知恵を出し合い全力で作り上げていくもの、守っていくものです。今こそ自分自身の命を守るために、生活を守るために政治に関心を持ち、人任せにせずに真剣に考える時だと思います。

当組合は、設立以来「技能の伝承と若手技能工の育成・教育」を主目標に活動を続けてまいりま

したが、これからも引き続き「若手技能工の育成・教育」を柱に活動を続ける所存です。皆様方の更なるご指導、ご協力をお願ひいたします。

以前よりいわれていることですが、現在の建設業界最大の課題は職人不足です。特に若手の職人が不足しています。若い人が「夢と希望」を持って働く配管業界に変えること、親御さんが自分の子供を働きさせたいと思う業界にすることが組合の目標であり、私の変わらぬ目標です。

今後、落ち込んだ経済がどれだけ回復するのか非常に気になるところですが、幸い、大阪では「2025年大阪・関西万博」の開催に向けて様々なプロジェクトが動き始めております。「大阪・関西万博」に関しては、様々な問題がいわれておりますが、建設業界にとりましては、万博が牽引役となり仕事量の大幅な増加につながっているのは紛れもない事実です。

今年は建設業界にも働き方改革の完全適用が始まります。非常に高いハードルですが、当組合は組合員一同力を合わせ、関係者各位のお力をお借りし、乗り越えてまいります。

皆で力を合わせ配管工事業界のイメージアップを計り、若い人や女性の入職者を増やす活動をしてまいります。現場で汗する配管工が誇りを持って、一生を通して働くことができる、魅力ある業界づくりに邁進いたします。関係者各位の更なるご指導、ご協力をお願ひ申し上げます。

賑やかに「辰年」スタート

新年賀詞交歓会開催



円内は挨拶する庄司理事長

組合の新年賀詞交歓会は1月25日、大阪市北区のホテルモントレ大阪で開催し、88名が参加して「辰年」の門出を祝いました。

年頭の挨拶に立った庄司真之理事長は、日ごろの組合活動への協力と交歓会参集への謝辞を述べる



小阪副理事長の司会で進行

とともに、元日の能登半島地震、翌日の羽田空港での航空機衝突事故に触れ、犠牲者に哀悼の意を表し、被災者にお見舞いの言葉を述べました。

さらに、庄司理事長は「当組合は設立以来、技能の伝承と若手技

能工の育成を掲げ活動してきた。本年も外国人労働者を含む若手技能工の育成教育を柱に推進していく。建設業界最大の課題は職人不足であり、補うには若い人材を業界に入職させることが欠かせない。一昨年、当組合は親団体の日本配管工事業団体連合会としてJAC（建設技能人材機構）に加入了。それにより、特定技能1号、2号として外国人を採用可能となり、幅広く人材を確保できるようになった。また、現在、青年部を中心に任天堂のゲーム『スーパーマリオ』のキャラクターを活用して配管工のイメージアップの方策を立てている」と新たな取り組みを紹介し、引き続き人材確保・育成に取り組む考えを強調しました。

一方で、関西地区の建設業界の動向について「いま大阪・関西万

博に向けた様々な大型プロジェクトが動き始めている。問題も山積みではあるが、万博が牽引となって仕事量が増えたのも事実である。われわれは地元として皆さんの力を結束して無事に開催、成功をおさめる任務がある」と意欲を示しました。働き方改革についても言及し「今年は建設業界も働き方改革の完全適用が採用され、4月から残業時間上限規制が始まる。川下の我々には非常に高いハードルだが、専門工事業者の社会的地位の向上と、皆様の情報を共有しともに成長していきたい」と組合、業界の発展への協力を呼びかけました。

来賓からは、大阪空気調和衛生工業協会の北村広外志会長、竹中工務店大阪本店設備部の坪本克也部長、大林組大阪本店統括部の増茂貞部長がそれぞれ期待を込めて



来賓挨拶する（左から）北村氏、坪本氏、増茂氏

祝辞を述べ、大阪府中小企業団体中央会連携支援部の岸本貴志部長の発声で乾杯し、和やかに交歓して親睦を深め合いました。

歓談が繰り広げられる中、新規組合加入者の紹介や賛助会員からの新製品PRが行われたほか、青年部会からは斎藤竜久氏と庄司宝

氏が日頃の活動や近況を報告しました。中締めは玉川義光副理事長の音頭で威勢よく大阪締めを行い、辰年の飛躍を祈願しました。



辰年の躍進を誓って乾杯



和やかなに歓談して懇親を深めた



玉川副理事長の音頭で威勢よく大阪締め

レッキス工業で技術研修実施

手動ねじ切りとポリ管の施工講習

組合は12月9日、大阪府東大阪市のレッキス工業本社工場で技術研修会を実施し、受講者は1級配管技能士検定に向けた手動ねじ切りの実習やレッキス工業製品の特徴と正しいねじ加工法、ポリエチレン管の施工講習を受けました。

冒頭挨拶で庄司真之理事長は、第1回目開催から休日にもかかわらず、全面的なバックアップにより研修をサポートしているレッキス工業へ謝辞を述べるとともに、「受講の皆さんにはこの4月から認定訓練を受講してもらい、これから実技に移る第一歩の研修会になる。手動ねじ切りを中心にしっかりと研修して有意義なものにしてもらいたい」と激励しました。



挨拶する庄司理事長



研修は、今年度の技能検定に備えて12月開催の組合主催・受検事前講習（南大阪高等職業技術専門校）の予習を兼ねて行われ、技能検定に必須のパイプの手動ねじ切りについてレッキス工業の担当者からレクチャーを受けながら実技に臨みました。また、同工場に隣接する「レッキスミュージアム」



レッキスミュージアム見学

でパイプマシンをはじめ、各種配管機器の歴史を学びました。

休憩を挟んでの座学では積水化学工業の担当者から長寿命化、耐震化、省人化を実現する製品「給水用高密度ポリエチレン管・エスロハイパーAW」の施工講習が行われました。



積水化学工業によるポリ管の施工講習



手動ねじ切りのコツを学ぶ



1級配管技能士検定の受検対策実技講習実施



組合は昨年12月16、17日の両日、大阪府和泉市テクノステージの大坂府立南大阪高等職業技術専門校で令和5年度の1級配管技能士検定へ向けた受検対策実技講習を行いました。

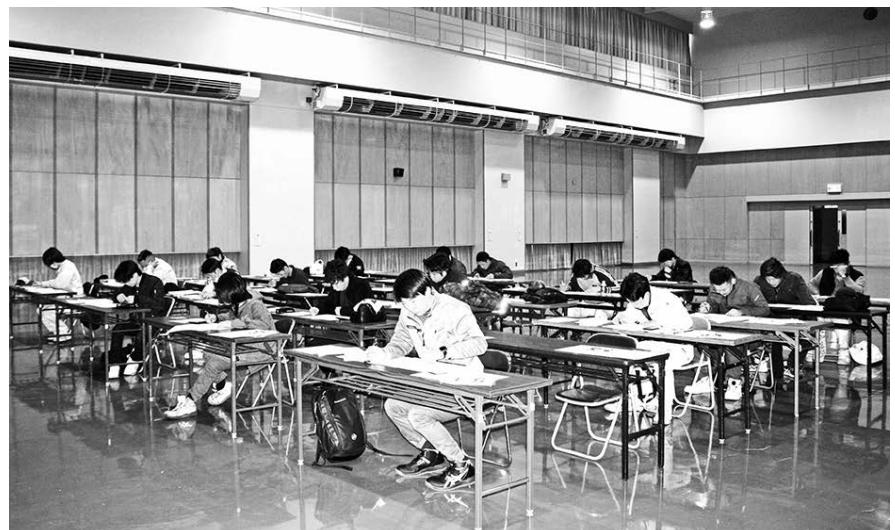
実技講習は検定を想定した本格的な講習で、1級配管技能士の受検予定者約20名が出席し、実技講習では作業試験さながらの講習に取り組みました。

初日の午前中はオリエンテーションに続き「材料の拾い出し・ペーパーテスト」の講習が行われ、最後に配管図から材料を拾い出して材料表を作成する練習問題試験が実施されました。

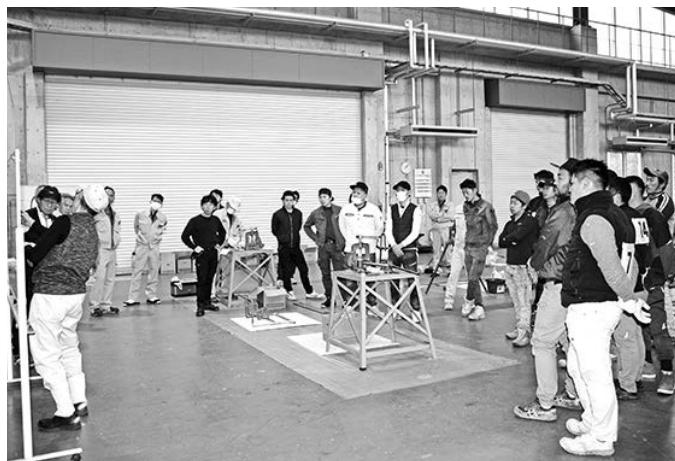
午後の実技講習では、玉川義光副理事長が受検に向けての心構えや実技要綱を説明したあと、指導員が鋼管の手動ねじ切りと銅管溶接の模擬実技を行い、それぞれの

作業の要点などを実技で指導しました。

引き続き、実技講習に移り、指導員が受講者の間を細かく巡って配管作業の指導に当たる中、受講



材料取りのペーパーテストに挑む



実技要項の説明を受ける



銅管蠶(ろう)付けの実技指導

者は切断、溶接、接着、配管組立などで作業試験の課題作品作りに真剣に取り組みました。

2日目は、午前中、前日の材料取り練習問題試験で及第点に達し

ない受講者は補講を受け、あの受講者は前日の反省をまじえて実技講習を受けました。

午後は作業試験本番と同じ時間（3時間半）で課題作品づくりに

挑戦しました。受講者は模擬検定作品の製作に懸命に取り組んで完成させ、指導員から寸法採点、水圧テストを受けて反省点を洗い出し、受検本番に備えました。



指導員のアドバイス受け懸命に技能習得



組合後援の「管材・設備総合展」

賛助会員18社出展

組合ブースで若者に業界アピール



開会式に臨む当組合の庄司理事長（後列右）

当組合が後援する関西管材・設備業界の一大イベント「管工機材・設備総合展OSAKA2023」（第21回大阪管材展、大阪管工機材商業協同組合主催）が9月7～9日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪6号館（A）で開催され、当組合賛助会員18社が出展し、それぞれ自慢の技術・製品をアピールしました。

また、当組合も関連団体の近畿ダクト工事業協同組合とともに出展し、技術向上への取り組みなどを発信しました。

今回は、メインテーマに「ズド

ーンと発進！管！環！感！関！響け流体テクノロジー！」を掲げて194の企業・団体が359小間に最新製品・技術を出展しました。社会生活に貢献する管工機材・設備機器が果たす重要な役割と最新技術・製品を紹介しました。

大阪ポンプ卸商組合、日本能率協会が共催団体として参画し、当組合ほか、経済産業省近畿経済産業局、大阪府、大阪市、大阪商工会議所をはじめ18団体が後援しました。

当組合は後援団体として来場者動員などに協力するとともに、組



合ブースでは役員、青年部会員が交代で詰めて若い世代を中心に幅広い層に配管工事業への認知度向上に努めました。

【出展賛助会員】

△アカギ△アサダ△安藤△MCC
コーポレーション△オーエヌ工業
△岡崎産業△カクダイ△シーケー
金属△昭和コーポレーション△積
水化学工業△ゼンシン△ダイドレ
△タカラ通商△多久製作所△東尾
メック△ベン△リケン△レッキス
工業



組合ブースでは若者へ業界情報を発信して存在感アピール



アカギ



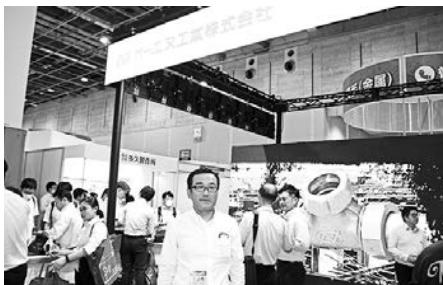
アサダ



安 藤



MCCコーポレーション



オーエヌ工業



岡崎産業



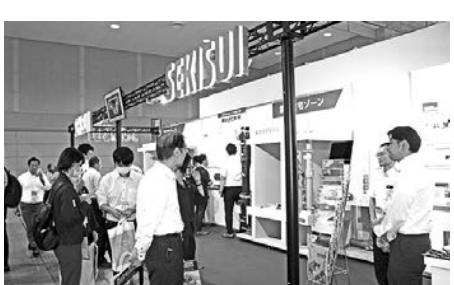
カクダイ



シーケー金属



昭和コーポレーション



積水化学工業



ゼンシン



ダイドレ



タカラ通商



多久製作所



東尾メック



ベ ノ



リケン



レキシス工業

組合員・賛助会員合同懇談会を開催



挨拶する庄司理事長

昨年12月7日に大阪市北区の三栄ビル会議室で組合員と賛助会員（メーカー・流通）約40名が出席し合同懇談会を開催しました。

懇談会では「働き方改革」「材料費の高騰について」「職人不足の対策」などの議題について意見交換を行いました。質疑応答では、来年4月から運送・物流、建設業などにも規制が適用される働き方改革について「大手でも若い人材は転職者が増えていると聞く」「中小企業は横との繋がりなどでＩＴツールを活用して情報を共有している」などの報告がありました。

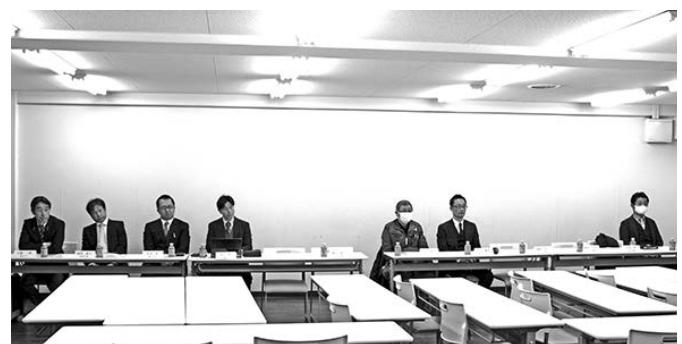
賛助会員双方から現状認識や先行き見通しが示されました。さらに、配管工事業業界が抱える様々な課題について熱心に意見を交わし、情報の共有を図りました。

このほか、組合員、賛助会員双方から現状認識や先行き予想をはじめ幅広い見方や意見が出されるなど白熱した情報・意見交換が繰り広げられました。



庄司真之理事長は冒頭挨拶で「来年の4月からは働き方の上限規制が始まる。これは建設業界が変わるチャンスだと思う。本日は皆さんの貴重な意見を頂戴して組合活動の参考にさせてもらいたい」と述べました。

また、人材育成については賛助会員側から「新卒者を積極的に採用している」「新入社員の研修に注力している」などの状況が報告されたほか、組合員、



近畿地区で登録配管基幹技能者講習実施



受講者を激励する日管連の庄司副会長
(当組合理事長)

令和5年度の登録配管基幹技能者講習の皮切りとして前期講習の近畿地区講習が10月17日～19日の3日間、大阪市中央区のエル・おおさか（大阪府立労働センター）で実施され、中国、四国、九州などからの参加者を含め33名が受講しました。

登録配管基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を有するとともに、現場をまとめ、効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者。いわゆる



上級職長として元請の計画・管理業務に参画、補佐することが期待されています。

近畿地区講習では主催者を代表して日本配管工事業団体連合会の庄司真之副会長（当組合理事長）が開講挨拶で「登録配管技能者として合格されたら自覚と責任を持ち若い技能者の目標となるようにその役割を存分に果たしていただきたい。そうすれば、技能者の職務の改善や技能者全体の社会的地位の向上に貢献できる」と期待を

込めて激励しました。

当組合からは玉川義光、小阪武司の両副理事長、庄司宝氏、塙田大樹氏が講師として「OJTとその進め方」「ケーススタディ」「OJTの実践方法」「OJTの実践講習」について講義しました。

前期講習はこのあと、沖縄地区で11月に那覇市の那覇地域職業訓練センターでも実施され、後期講習は関東地区で今年2月に東京都小平市で実施されました。

サロン

都島ライオンズクラブ

桜宮小でミニバスケ大会

組合の庄司真之理事長（ツカサ会長）が所属する「大阪都島ライオンズクラブ」は、地域に根差した奉仕活動の一環として、毎年2月に都島区内の小学校を対象にミニバスケットボール大会「大阪都島ライオンズクラブカップ」を開催しています。

2月17日、大阪市立桜宮小学校で「第8回大阪都島ライオンズクラブカップ」が開催され、今回はプロバスケットボール「大阪エヴェッサ」の現役選手・土屋アリスター時生選手を招待し、子供たちの熱戦に花を添えました。

試合終了後、土屋アリスター時



生選手がトロフィーや記念品を手渡し、活躍した選手と1on1対決をするなど会場は大いに盛り上がりいました。庄司理事長は「子供たちの夢を与える場として継続していきたい」と話し、観戦に訪れたツカサの庄司宝社長も「実際のプロの選手と触れ合い貴重な経験になったと思う」と述べ、全員で記念写真に収まりました。



プロ選手から記念品授与

理事会 議事要旨

【令和5年9月】――――――

〈9月14日(木)開催〉

- ①日管連令和5年度定時総会・創立30周年祝賀会・理事会出席報告について
- ②日管連第8回全国青年部会部会長交流会出席報告について
- ③令和5年度「登録配管基幹技能者講習」開催案内書送付報告について
- ④大空衛主催の第39回4団体協議会出席報告について
- ⑤大空衛主催の第13回配管技能コンテスト開催結果報告について
- ⑥第24回技術研修会開催日程と実施要領作成について
- ⑦令和6年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成について
- ⑧その他
(外国人も受講できる特別教育実施報告について)

⑤第14回組合員・賛助会員合同懇談会開催日程(12/7)と開催方法の検討について

⑥新規組合員の組合加入申込み諾否について

⑥賛助会費の消費税の扱いについて

【令和6年1月】――――――

〈1月25日(木)開催〉

- ①第40回4団体協議会の出席報告について
- ②第14回組合員・賛助会員合同懇談会・会費制忘年懇親会終了報告について
- ③令和5年度技能検定1級配管受験対策実技講習終了報告について
- ④令和6年新年賀詞交歓会の運営順序の打合せ
- ⑤その他
(令和6年2月定例理事会休会について)

【新規組合員】――――――

株式会社 山本商店

代表者・山本洋行氏

〒567-0863

茨木市沢良宜東町4-26

Tel.072-634-0034

Fax072-638-6789

(令和5年10月1日新加入)

株式会社 TRUST

代表者・桑原貴志氏

〒660-0807

尼崎市長洲西通2-9-22

Tel.06-7171-9317

Fax.06-7171-9317

(令和5年12月1日新加入)

積水化学 滋賀栗東工場を見学



組合青年部会（部会長斉藤竜久氏）は昨年11月2日、勉強会として管工機材製品を幅広く手掛ける賛助会員・積水化学工業（本社・大阪市北区、社長加藤敬太氏）の滋賀栗東工場の見学会を実施しま

した。

当日は約30名が参加し、耐火V Pパイプの燃焼実験や給排水ベーシック実験、長寿命化・耐震化・省人化を実現する製品「給水用高密度ポリエチレン管・エスロハイ

パーAW」の製品説明を受けたほか、各種実験など工場内、展示ホールなどをつぶさに見学し、有意義な一日となりました。



日管連全国青年部会が札幌で勉強会開催

課題克服へ情報交換・共有

日本配管工事業団体連合会（日管連）傘下の各地区団体青年部会で組織する日管連全国青年部会（部会長斎下保之氏＝中国団体）の第12回全国青年部会が昨年10月20日に北海道で開催されました。

今回は北海道配管工事業協同組合青年部（佐々木祐司会長）の担当で開催されたもので、活発な交流を通じて青年部会活動の活性化の方策を模索しました。

全国各地から札幌市のプレミアホテル中島公園札幌に集合した参加者は、北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州の7団体からオブザーバーなども含めて約80名で、1年ぶりの再会を喜びました。

全国会議の前に各地区の部会長



挨拶する斎下青年部部会長

による会議が行われ、今後のスケジュールや参加人数の打合せを確認しました。部会長会議のあとに北海道青年部の佐々木祐司部会長が開催地区を代表して挨拶し、全国会議に移りました。

第1部の勉強会では「教えて！各地区の青年部の活動を」をテー

マに各地区的活動報告を順次スクリーンを使用して紹介していました。青年部活動の実態について「各社の近況・現場動向の情報交換」「技能工の教育・交流」「積算、見積書作成の勉強会」「忘年会やボウリング大会などの親睦会行事の運営」など各地区的取り組みが発表され、活発な意見交換が行われました。

この中では「活動の良かった点、悪かった点」について「組合員同士の協力し合える関係になった」「ゼネコンとの意見交換会で方針などが聞けた」といった有意義な意見に交じって「月に1回でも忙しくて参加できない」「賛助会員からの情報提供など活かしきれていない」などの課題も見つか



全国の団体から参集



関西組合青年部会の活動報告をする庄司宝副部会長（左）



壇上で紹介される関西組合青年部会会員

り、こうした課題克服に向け、全国青年部会が情報を共有し合いながら取り組んでいくことを確認しました。

第2部の懇親会では、日管連青年部会の薮下保之部会長が「働き方改革や労働人口の減少、安定しない社会情勢を背景とした生活ンフラへの影響など解決の見えない問題が山積みで、特に担い手不足

問題は建設業にとって最も重要な課題である」と述べ、「日管連青年部会としても配管業界の認知度を高め、建設業全体を盛り上げていきたい」と挨拶しました。さらに「横の繋がりを大切にして、風通しよく、困ったときに相談できる関係性を築き、明るい配管工事業の未来を皆さんと作っていきたい」と意欲を示しました。

懇親会では、北海道団体相談役の横田昇氏の発声で乾杯し、和やかに交歓しながら親睦を深めました。宴半ばでは各地区の近況と出席者が改めて紹介され、新たな議案提起なども出し合いながら、今後も団結して業界の発展に注力していくことを誓い合いました。



懇親会も開催

令和5年度

優秀建設施工者大阪府知事表彰

朝倉設備から2氏受賞

大阪府の令和5年度「優秀建設施工者」表彰式が2月7日に大阪府庁本館5階の「正庁の間」で行われ、27名（熟練工部門17名・青年部門10名）が表彰され、当組合からは、熟練工部門で(有)朝倉設備の木下秀作（きのした・しゅうさく）氏、青年部門で立居場陵（たていば・りょう）氏が大阪府知事表彰をそれぞれ受けました。

式典では表彰実行委員会代表の挨拶に続き、森岡武一大阪府副知事から受賞者27名に表彰状・記念品が授与されました。



朝倉社長を中心左・木下氏、右・立居場氏



60年で加入企業110万社以上の実績！

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

国の退職金制度

安心

国から掛金の助成を受けられます

外部積立型だから

簡単

従業員ごとの納付状況や退職金試算額をお知らせします

掛金は全額非課税だから

有利

節税に加え、手数料もかかりません



事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、一定の要件を満たしていれば加入できます。

詳しくは▶ [中退共](#) [検索](#)

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

ちゅうたいきょう
略称：中退共

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL 03-6907-1234 FAX 03-5955-8211